

第 30 回日本自然災害学会学術講演会学術発表優秀賞を 2 件受賞しました (2011/11/18)

当センターの佐藤翔輔助教，島村宗一郎修士課程（津波工学研究分野）が，第 30 回日本自然災害学会学術講演会の学術発表優秀賞を受賞し，11 月 18 日(木)に行われた同学会の懇親会で授賞式が行われました。学術発表優秀賞は優れた発表を行った若手研究者（当該年の 12 月 31 日で満 35 歳以内の自然災害学会の会員）に対して授与されるものです。5 年前から若手研究者を奨励する制度として設けられ，毎年 7～11 名が受賞していきました。今年度は，計 8 名が受賞しました。内訳は，東北大学から 3 名，東京大学から 3 名，京都大学から 2 名で，本学が最も受賞者数の多い研究機関であり，3 名のうち 2 名が災害制御研究センター所属です。当センターの受賞者は，第 26 回（平成 19 年度）以来です。

受賞発表

佐藤翔輔，今村文彦，古関潤一：

東日本大震災後の沿岸リスク認知と情報収集に関するアンケート調査
 —宮城県沿岸 15 市町を対象にして—

島村宗一郎，今村文彦，阿部郁男：

東日本大震災における沿岸鉄道・車両への影響評価—東松島市野蒜地区—



佐藤翔輔助教，今村教授，島村修士課程生



2 枚の表彰状